

# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	<b>法人運営事業</b>		
	<b>1 災害援護事業</b> 1)不幸にして災害により住居に被害があった世帯へ災害見舞金を贈った。 1件(2件)	30,000	20,000
	<b>2 物故遺族に対するの弔慰を表す事業</b> 1)町民物故者の葬儀に伴う返礼用はがき印刷費を負担し生前の功労に感謝の意を表した。 はがき利用件数 69件 13,150枚(47件 10,330枚)	491,000	400,600
	<b>3 高齢者福祉の推進事業</b> 1)白老町が実施している長寿祝い金贈呈(白寿)事業と合わせて、記念品を贈呈した。 白寿 14名(7名)	75,000	70,000
	<b>4 路上生活者の支援事業</b> 1)所持金をなくし、白老町に立ち寄る路上生活者等に対して、隣町までの旅費を貸付けた。貸付件数 1名(0名)	10,000	700
	<b>5 地域福祉団体への助成事業</b> 1)町内の地域福祉推進のため率先して活動している団体を支援した。 ①高齢者クラブ連合会 ②白老町遺族会	347,000	95,587
	<b>6 地域支援事業</b> 1)小地域ネットワーク活動の推進 高齢化社会に対応するため、町連合、民協、その他関係団体との連携を密にし、福祉ネットワーク(ふれあいチーム)づくりを全町に普及し、一人の不幸も見逃さない組織づくりを推進した。 62町内会 4,988世帯 (62町内会 5,033世帯) 2)発電機付きバルーン投光器整備事業 共同募金の助成金は得られなかったが、白老町より発電機付きバルーン投光器2機の貸与を受け整備事業を終了した。(他スコップ46本・ジェットヒーター2機の貸与を受け非常時の体制整備を行った。) 3)行事用テント、トラックの貸出 テントを町内会等へ貸出した。3件 10張(3件 8張) 2tトラックを町内会等へ貸出した。100件(96件) 4)福祉機器の貸出 要介護状態で在宅生活を送るのが困難な方のために福祉機器を短期で貸出した。 車椅子 54件(27件) ポータブルトイレ 13件(11件) その他 6件(3件)	1,400,000  369,000  —  —	1,253,900  0  —  —

# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位：円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
	5)ランドセルの贈呈事業 低所得世帯の小学校新入学児童に対し、ランドセルを贈呈した。 1件(1件)	50,000	14,980
	6) 無縁物故者慰霊祭の開催 供養塔開放をして自由参拝として実施	20,000	5,500
	<b>7 介護入門的研修の開催</b> 1)介護未経験者が介護に関する基本的な知識や技術を学び介護分野への参入のきっかけを作るため介護入門的研修を開催した。 ①介護入門的研修事前説明会 5月13日(金)10名参加 ②介護入門的研修 6月13日(月)～7月15日(金)開催 12名参加(18名参加)	206,000	206,802
	<b>8 生活援助従事者研修の開催</b> 1)家事援助を中心としたサービスの担い手を育成するための生活援助従事者研修を開催した。 7月18日(月)～8月30日(火) 12名参加(18名参加)	227,000	170,011
	<b>9 介護職員初任者研修の開催</b> 1)高齢者支援を行うために必要な知識、技能を修得するための介護職員初任者研修を開催した。 9月19日(月)～3月15日(水) 13名参加(16名参加) ※コロナウイルス感染症拡大により開催期間を延長した	823,000	705,809
	<b>10 障がい児・者福祉活動支援事業</b> 1)町内の障がい福祉団体を支援した。 ①身体障害者福祉協会白老町支部 ②しらおい障がい者と手をつなぐ会 ③北海道難病連白老支部	156,000	156,000
	<b>11 児童・青少年福祉活動支援事業</b> 1)町内の児童・青少年福祉団体を支援した。 ①登別地区保護司会白老分区 ②社会を明るくする運動実行委員会	29,000	29,000
	<b>12 ボランティア活動育成事業</b> 1)ボランティア団体の活動を支援した。 ①白老町婦人ボランティアグループ ②ヘルム39 ③白老小学校青少年赤十字 ④はっぴー♡ふまねっとくらぶ ⑤白老町認知症の人と家族などの会 2)ボランティアスタートアップ支援事業 白老町内に拠点を置き、新たにボランティア団体等を設立し、地域に根差した事業への取り組みをはじめようとしている団体を支援した。(令和4年度申請なし)	162,000          60,000	119,000          0

# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位：円)

	サービス区分 事業内容	予算額	決算額
	<p><b>13 社協活動啓発事業</b></p> <p>1) 社協だより「ほほえみ」の発行 社協だより「ほほえみ」を年4回発行し、社協活動の理解と協力を求めた。(5月、7月、10月、1月発行)</p> <p>2) 福祉パネル展の開催、社会福祉功労者表彰事業を通して福祉に対する理解と啓発を図った。</p> <p>①福祉パネル展 2月20日(月)～2月25日(土) いきいき4・6ロビー</p> <p>②社会福祉功労者表彰(白老町社協会長表彰)表彰式 日 時:3月28日(火) 10:00～ (評議員会席上) 会 場:白老町総合保健福祉センター 三世代交流センター 受賞者:(個人) 11名、(団体) 1団体、(感謝) 3名</p> <p>3) 社協ホームページやブログの更新 社協ホームページやブログで活動内容を紹介し、広く理解と協力を求めた。</p>	<p>594,000</p> <p>273,000</p> <p>—</p>	<p>557,599</p> <p>176,000</p> <p>—</p>
	<p><b>14 サロン開催事業</b></p> <p>①ふれあいサロンの開催 地域の高齢者や障がい者、子育て世代の方を対象に生きがいや仲間づくり、また、心と身体のリフレッシュを図ることを目的に開催した。</p> <p>1) 「死について語り合うつどい」 4月25日(月) いきいき4・6 参加者6名</p> <p>2) 「～白老町内の福祉を知るカフェ～ ふくしるカフェ」 8月17日(水) いきいき4・6 参加者24名</p> <p>3) エンディングノートカフェ 10月31日(月) 14:00～ いきいき4・6 参加者13名</p> <p>4) 正しい手洗い・うがいとは? 3月24日(金) 14:00～ はまなす21 参加者12名</p> <p>②子育てサロンの開催 白老町3か所(白老、萩野、虎杖浜)で子育てサロンを開催し子育て中の親子の交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月26日(日) 萩野地区 24名(106名)</li> <li>・ 10月15日(土) 虎杖浜地区 43名(-名)</li> <li>・ 11月13日(日) 白老地区 40名(-名)</li> <li>・ 2月 5日(日) 白老地区 20名(-名)</li> </ul> <p>③認知症の人を支える家族などの集いの開催 5月20日(金) 11:00～14:00 いきいき4・6三世代交流センター 参加者31名 7月13日(水) 11:00～14:00 いきいき4・6三世代交流センター 参加者37名</p>	<p>195,000</p> <p>100,000</p> <p>75,000</p>	<p>135,000</p> <p>100,000</p> <p>20,000</p>

# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	3月16日(木) 11:00～14:00 白老町コミュニティセンター201号室 参加者24名 ④配食サロン・在宅高齢者ふれあいサロンの開催 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (-名) ⑤認知症介護者リフレッシュ事業の開催、家族等の休息 や悩みごとの解決の支援 10月24日(月) 10:00～15:00 参加者9名 オートリゾート苫小牧アルテン ゆのみの湯	58,000	0
	<b>15 資金貸付相談事業</b> 1)高齢者や障がい者、低所得世帯を対象に資金を貸付し 安定かつ自立した生活を送るための支援をした。 生活資金相談件数 509件 (385件) ① 生活福祉資金貸付相談 (道社協受託金) 生活福祉資金貸付相談を行い福祉向上に努めた。 ② 応急生活資金貸付 応急生活資金貸付を実施し、低所得者の福祉向上を 図った。 20件(18件) ③ 生活福祉資金特例貸付 (道社協受託金) 生活福祉資金の特例(コロナ)貸付を行った。 (1)緊急小口貸付 17件 10,650,000円(79件) (2)総合支援資金貸付 17件 32,310,000円(36件) (3)総合支援資金貸付[再・延長] 0件 -円(18件) 令和4年9月30日事業終了 (4)特例貸付(コロナ)債権管理事務 令和4年10月1日より新規事業	183,000	166,050
	② 応急生活資金貸付 応急生活資金貸付を実施し、低所得者の福祉向上を 図った。 20件(18件)	1,100,000	768,000
	③ 生活福祉資金特例貸付 (道社協受託金) 生活福祉資金の特例(コロナ)貸付を行った。 (1)緊急小口貸付 17件 10,650,000円(79件) (2)総合支援資金貸付 17件 32,310,000円(36件) (3)総合支援資金貸付[再・延長] 0件 -円(18件) 令和4年9月30日事業終了 (4)特例貸付(コロナ)債権管理事務 令和4年10月1日より新規事業	-	242,050
	(4)特例貸付(コロナ)債権管理事務 令和4年10月1日より新規事業	-	1,388,402
	<b>16 権利擁護事業(新規事業)</b> 1)北海道社会福祉協議会が実施している日常生活自立 支援事業を実施する。 利用者 4名(終了2名、継続2名、新規2名) 2)権利擁護事業を担う支援員の募集、育成を図る。	120,000	160,000
	<b>17 防災事業</b> 1)災害ボランティアセンターの運営準備を行う 2)町民防災講座の開催 「災害時に高齢者や障がい者などを地域で支えるために」 ～胆振東部地震の体験を通じて～ 社会福祉法人厚真町社会福祉協議会 厚真町高齢者福祉センター センター長 山野下 誠氏 日 時:10月14日(金)14:00～16:00 参加者:20名(31名参加)	100,000	100,000



# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	<b>2 ボランティア育成・交流事業</b> 1) ボランティア体験学習の実施 ① 秋のボランティア体験学習 「重さを当てろ！プルペットゲーム！」 (ペットボトルキャップ仕分け体験) 11月19日(土) 12名参加(13名) ② ミナボラ～ボランティア入門&基礎講座 12月10日(土)いきいき4・6研修室3・4 11名参加(11名) 2) ボランティア出前講座の開催 実施件数6件(4件) ① 福祉の仕事と資格 高校1件 ② 手話体験学習 高校1件 ③ 点字点訳体験 高校1件 ④ 高齢者疑似体験 小学校2件 ⑤ 車椅子体験 小学校1件	80,000	80,000
	① 福祉の仕事と資格 高校1件 ② 手話体験学習 高校1件 ③ 点字点訳体験 高校1件 ④ 高齢者疑似体験 小学校2件 ⑤ 車椅子体験 小学校1件	30,000	30,000
	<b>3 カレンダーリサイクル事業</b> コロナウイルス感染症拡大防止のため一部予約制で実施 益金 176,705円(151,557円) 愛の小箱募金へ 企業・団体・個人 86件 5,684点(92件5,586点)	23,000	15,169
	<b>4 愛の小箱募金及びリサイクル収集事業</b> 1) 愛の小箱募金 27件 149,961円 (10件247,138円) 2) 物品預託 24件 22,126点 (13件10,179点) 3) リングプル 41件 94.3kg (53件 226.6kg) 4) ペットボトルキャップ 91件 756.2kg (87件 724.2kg) 益金13,295円 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ 5) 使用済み切手 7件 308g (6件 671g) 6) その他 2件 9点 (1件 20点)	—	—
	1) 愛の小箱募金 27件 149,961円 (10件247,138円) 2) 物品預託 24件 22,126点 (13件10,179点) 3) リングプル 41件 94.3kg (53件 226.6kg) 4) ペットボトルキャップ 91件 756.2kg (87件 724.2kg) 益金13,295円 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ 5) 使用済み切手 7件 308g (6件 671g) 6) その他 2件 9点 (1件 20点)	—	—
	<b>受託事業</b>		
	<b>1 白老町受託事業</b> 1) 腎臓機能障がい者通院支援事業 腎臓機能障がい者通院支援事業を受託し、病院への通院を支援し患者や家族の負担軽減と健康の維持増進を図った。 登録者数 25名 (25名) 延べ移送患者数 6,059名(6,479名) 1日平均利用者 19.4名 (20.7名) 2) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対し生活援助員派遣の受託を受け、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援した。 入居世帯 12世帯(12世帯)	12,484,000	12,483,169
	1) 腎臓機能障がい者通院支援事業 腎臓機能障がい者通院支援事業を受託し、病院への通院を支援し患者や家族の負担軽減と健康の維持増進を図った。 登録者数 25名 (25名) 延べ移送患者数 6,059名(6,479名) 1日平均利用者 19.4名 (20.7名) 2) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対し生活援助員派遣の受託を受け、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援した。 入居世帯 12世帯(12世帯)	1,517,000	1,508,716

# 令和4年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	事業内容	予算額	決算額
		3) 電話サービス事業 町内の独居世帯或いは高齢者世帯などの安否確認や 悩みごと相談などボランティア団体の協力を得て、電話 サービスを行う。利用者0名 延回数 0回 (利用者2名 延回数44回) 令和4年度利用実績なしのため事業終了	72,000	0
		4) 介護講習会開催事業 介護講習会で高齢者社会に対応し、多くの方に介護技 術の習得を促進し、介護負担の軽減を図ることを目的に 介護講習会を開催した。 「看取りについて」 しらおい訪問看護ステーション 所長 猪羽 美鈴氏 11月1日(火) 18:30～ いきいき4・6三世代交流センター 参加者25名	35,000	34,080
		5) 生活支援コーディネーター事業 地域特性に応じた生活支援体制の構築に向けた環境 整備の推進を行った。 シルバー世代のための暮らしの便利帳作成、地域の各種 サロン活動・集いの場への活動支援 他 令和4年度サロン申請計画数6団体に対し、申請8団体	5,728,000	5,727,700